

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和3年度 第8回 Web 理事会・議事録(抄録)

<p>○日 時：令 10 月 14 日(木) 14：10～17：30</p> <p>○場 所 Web 会議</p> <p>○出席者 丸会長、亀山、小日向、高野各副会長、小野寺専務理事、古賀、村岡、相良、蛭田、濱田各常務理事、山口、町田、前田、山本、六角、水村、青山、栗田、水島、野村、安井、小竹、笹生、原各理事、中島、古屋各監事</p> <p>○同席者 恒石ガバナンス委員長、西原国体委員長</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>概略以下の挨拶があった。</p> <p>「インターハイに参加したが彼らの目の輝きはすごい、我々は環境を整えなくてはいけない。9 月にはオリンピック等でお世話になった協賛会社 8 社を訪問した。Tokyo2020 は頑張ったねと声をかけて頂いたが半分はパリまでついてこないと感じている。マーケティングの力量が試される。我々は当事者意識を持たなくてはいけない。山岳スキースキの強化には多くの方を訪問した。今後大鉈を振るっていかなくてはいけない。職務報告にも書いたがパラクライムともアンブレラしていかなくてはいけない。本日は皆さんの健康を考えて 2 時間で休憩を入れる。」</p> <p>3. 会議成立状況報告</p> <p>理事数 24 名中 24 名出席 監事数 2 名中 2 名出席</p>	<p>(定款第 33 条、定足数=12 名(1/2 以上))</p> <p>4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第 32 条)</p> <p>5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第 34 条) ホストは小野寺専務理事が務める</p> <p>6. 議 題</p> <p>議案第 1 号 議事録の承認について 2021 年度第 7 回理事会議事録の承認について(事前送付済) 事前にメール送付して確認してもらっており、全員異議なく承認した。 議案第 2 号 上期事業報告(案)について 小野寺専務理事から資料に基づいて提案があった。実際の承認は来月となるが、ポイントの説明があった。 議案第 3 号 SDGs 推進委員会方針について 前田理事より資料に基づいて説明があった。SDGs について簡単に説明があり、 協会としての方向性に鑑みながら委員会の今後の展開・方針について発信していくとの提案である。 提案について採決を行い、全員一致で異議なく承認された。 議案第 4 号 BMI 規程について 六角理事より資料に基づいて提案説明があった。体重について規程している団体は他にない。 議場に採決を諮った。議論をもっと深める、棄権、賛成/本日から施行の 3 点について確認、賛成/本日から施行が全員一致で採択された。 (その後、理事会 ML で確認し、規程名</p>	<p>称について再考になった。)</p> <p>7. 報 告 報告第 1 号 パラクライム連盟との協同歩調について 丸会長から資料に基づいて提案説明があった。今後協賛会社を逃すことなく依頼していくからには、本協会も積極的にパラクライムと一緒にいるということを明確にすべきである。 精神的にというより実際に一緒に行動していくことが大事との認識を持った。その様にマーケティングを変えたい。 ◎建前としては賛成だが山岳スキーもあるし、こんなに沢山の種目が出来るのかとの意見に対し、組織は別でも一緒にやっていったらよい、との意見と、世界のなかでも当協会だけがオリパラ別々になっている、LA オリンピックではパラは入る、との意見があった。事務局員は増やしたい。地方ではオリパラ協力関係にある、との意見もあった。提案者の意図は本日決定ではなく、今後の方向性についての確認であり、担当はマーケティング委員会中心になるだろうとのこと。大筋賛成が多勢を占めた。</p> <p>(10 分間ブレイク)</p> <p>公益法人の理事、スポーツ団体ガバナンスコード等について恒石ガバナンス委員長が講演を行った。ガバナンス、コンプライアンス、インテグリティにおける各々の違いについて事例を交え</p>
---	--	---

て説明があった。

報告第2号 令和4年度財源計画草案の提示について

小野寺専務理事から資料に基づいて報告があった。予算委員会を10月末くらいから稼働させたい、後日連絡する。

報告第3号 業務執行理事の職務執行報告について

各々の業務執行理事が口頭で執行報告を行った。

報告第4号 日本山岳グランプリ受賞対象者について

小野寺専務理事から報告があった。選考委員については、JMCSA 内部が古賀、村岡常務理事、小野寺専務理事、外部はJAC 副会長の坂井広志氏、筑波大学研究員の久保田賢次氏の5人。このメンバーで選考し次の理事会に諮りたい。

報告第5号 新春懇談会開催について
小野寺専務理事から報告があった。
2022年1月15日(土)に予定通り開催したい。

報告第6号 オリジナル功労者表彰日程について(口頭)

小野寺専務理事から報告があった。11月5日(金)を予定している。役員も是非参加してほしい。

報告第7号 ルートセッター講習会について

小野寺専務理事から資料に基づいて報告があった。

報告第8号 信州山小屋応援プロジェクトについて

小野寺専務理事から資料に基づいて報告があった。

報告第9号 日本スポーツ賞

小野寺専務理事から野中生萌選手を推薦したとの報告があった。

報告第10号 オリジナル検証チームについて

小野寺専務理事から資料に基づいてチーム発足の報告があった。

報告第11号 クライミング競技の次年度スケジュール案について

村岡常務理事から資料に基づいて報告があった。

報告第12号 役員の定年、年限検討について

小野寺専務理事から現状について報告があった。アンケートを10月いっぱいにもらって検討する。

報告第13号 役員派遣について(10月14日(木)～11月14日(日))

(1) 公認会計士上期決算監査前確認
10月20日(水)

於: 事務局会議室 小野寺専務理事、相良常務理事、濱田常務理事

(2) UIAA 総会 10月22日(金)～23日(土)

於: オンライン 丸会長、小野寺専務理事

(3) 安全登山研修会 10月23日(土)

於: オンライン 丸会長、高野副会長、古賀常務理事

(4) 上期決算・業務・会計監査 11月1日(月)

於: 事務局会議室 中島監事、古屋監事、小野寺専務理事、相良常務理事、濱田常務理事

(5) 第5回国際ロッククライミング研究会議 11月11日(木)～14日(日)

於: オンライン 小日向副会長、六角理事、安井理事、水村理事

8. 会務・役員派遣 (9月10日(金)～10月13日(水))

(1) 上級登山指導者リスクマネジメ

ント研修会 9月18日(土)～19日(日)

於: 神戸登山研修所 小野寺専務理事

(2) JSP0 資金調達支援制度インタビュー 9月21日(火)

於: オンライン 小野寺専務理事、相良、濱田常務理事

(3) オリパラ組織委員会 NF 協議会 9月17日(金)

於: オンライン 小野寺専務理事

(4) ISMF 総会 9月25日(土)

於: オンライン 笹生理事

(5) 国立登山研修所専門調査委員会 10月1日(金)

於: オンライン 小野寺専務理事

(6) 安全登山研修会開催可否会議 10月1日(金)

於: オンライン 小野寺専務理事

(7) SC 主任検定員養成講習会東京会場 10月9日(土)

於: クライミングジム「ギリギリ」藤江委員長

令和3年10月14日

記録 小野寺 齊

以上